



## 新しい四半世紀のはじまり



札幌市長

秋元克広

2015年、札幌市とノボシビルスク市は姉妹都市提携25周年を迎えました。ノボシビルスク市とは、1990年に姉妹都市提携の調印を行って以来、芸術・文化、スポーツ、学術、青少年交流など市民レベルでの様々な交流が大変活発に行われてきました。

両市の友情をここまで深めることができたのは、これまで交流に携わってこられた多くの市民の皆さまの熱意とご尽力の賜物にほかなりません。関係の皆さまに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

25周年を迎えた2015年を振り返ってみますと、6月には、札幌から市民訪問団がノボシビルスクを訪れ、ノボシビルスクの創設を記念する「まちの日」の関連イベントや市民同士の文化交流に参加したほか、両市の姉妹都市関係のさらなる促進を図るため、新しい宣言文への調印が交わされました。

そして、10月には、ノボシビルスク市からローコチ市長を団長とする訪問団の皆さまを札幌に迎え、25周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。記念式典では、同年、姉妹都市少年交流事業に参加された札幌の中学生の皆さんから、両市の交流の発展に向けた提言をいただくなど、若い世代の方々にも積極的に参加していただきました。札幌とノボシビルスクの姉妹都市交流にとって、新たな四半世紀が始まるという場にふさわしい未来につながる式典を開催できたのではないかと考えております。

今後とも、25年間で培ってきた友情と信頼の絆がより一層深まり、さらには新しい広がりを生み出せるよう、両市の皆さまと一緒に交流の輪を広げてまいりたいと考えております。市民の皆さまにおかれましても、これまでと変わらぬご協力をお願い申し上げます。

本冊子を通して、25年間に渡り友情を育んできたノボシビルスクをもっと身近に感じていただくとともに、札幌市の姉妹都市交流に一層のご関心をお持ちいただければ幸いです。



## 尊敬する友人 札幌市民の皆様へ



ノボシビルスク市長

アナトーリー・ローコチ

ノボシビルスク市民を代表して、札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携25周年をお祝い申し上げます。

両市の姉妹都市提携は四半世紀前、1990年6月13日に結ばれました。札幌とノボシビルスクの強固な友好関係は25年という時を経ても変わらず続いてきました。四半世紀にわたった日本とロシアの民間交流がお互いに有益なものであることを確認できたと思います。

道路建設、まちづくり、ゴミ分別やリサイクル、ハイテク産業、スポーツの推進などの分野で日本は豊かな経験があり、ノボシビルスクにとって、日本の姉妹都市から学べるものがたくさんあります。ノボシビルスクも日本の方に観光地としてだけではなく様々な分野で関心と呼べると思っております。

両市は、情報交換、短期交換留学、写真展示会、コンサート、こども絵展示会、日本とロシアの文化祭、スポーツ交流、青少年交流など様々な分野で協力しながら姉妹都市交流事業を行っています。ノボシビルスクでは日本及び札幌との文化交流が最も盛んです。

現在、ノボシビルスクにおける日ロ交流は市立シベリア・北海道文化センターがなければ考えられません。当センターは1996年に創立され、シベリアの首都にありながら日本の一部になったような施設です。シベリア・北海道文化センターは日本の伝統的精神を持っており、また、日本語講座があるノボシビルスクの大学と協力しながら活動しています。

ノボシビルスク国立グリニカ音楽院附属日本音楽文化センターも、1992年に同音楽院と北海道国際音楽交流協会（ハイメス）の発議で創立され、姉妹都市の文化交流を発展させるための大事な施設となりました。現在も、ノボシビルスク市役所は日本音楽文化センターの活動を支援しております。

有名なソ連時代のジャーナリストで、6年間東京で特派員経験のある V. オフチニコフは「一枝の桜」という本でこう述べました。

「日本の性格は、植木屋が長年にわたって枝をためたり結んだり、ささえ木を当てがったりして丹精した木にたとえられる。あとで、その木から柵木や支木をはずしたとしても、伸び伸びと茂った樹形の底には、かつて幹とおもな枝に与えられた形が、そのまま保たれている。たとえ表面から深く隠れたどこかに横たわっているにせよ、道徳的基盤こそ人間関係の代数学である。その公式さえ知っていれば、現代の生活が提起している問題を解くことは、より簡単となる。」（※）

それと同様、長年にわたって両市の市民が中心となって形を作ってきた姉妹都市関係が成熟してきた今、私たちはその関係を発展させたり、広めたり、深めたりすべきです。

相互理解に基づいた私たちの協力はこれからも長く続き、実りのあるものとなることを確信しております。最後に、ノボシビルスク市民を代表して、札幌市民の皆様との平和と健康、幸福をお祈り申し上げます。

（※） V. オフチニコフ（1971）『一枝の桜－日本人とは何か』（早川徹訳）読売新聞社、39頁



## 親愛なる友人の皆さま

在札幌ロシア連邦総領事館総領事

アンドレイ・ファブリーチニコフ

2015年にはノボシビルスク市と札幌市間の姉妹都市提携25周年が盛大に祝われました。

この25年間には、文化、青少年、スポーツ分野などの交流を促進するために様々なことが行われてきました。日本の友好団体のご支援とご協力のもとノボシビルスクに素晴らしい「シベリア・北海道」文化センターが建てられました。そのセンターは、両都市の市民間の緊密な友好関係を築き、日本の伝統と文化を理解するための良好な場となっております。

札幌市では、毎年「雪まつり」が開催されていて、ノボシビルスクのチームも何度もこのお祭りに参加させていただいておりますが、この「雪まつり」に影響を受けまして、ノボシビルスクでも「シベリア雪像フェスティバル」が開催されるようになりました。

札幌市、民間団体、科学、文化分野の関係者、大学関係者などはたびたびノボシビルスク市を訪問されておりますが、この都市を気に入られたものと確信いたしております。

札幌市民の皆様もノボシビルスク市民をいつもあたたかく迎え入れてくださり、「シベリアの首都」・ノボシビルスク市との関係を非常に大事にしておられます。2015年にはノボシビルスク・札幌姉妹都市提携25周年を記念して、札幌市で「ロシア語詩の集い」やバレエ「くるみ割り人形」の初演が開催されました。

これは、ノボシビルスク市と札幌市が同じような気候条件にあり、ほぼ同数の人口を有するという共通点で結ばれているばかりではなく、両都市には発達したインフラや科学、文化、教育の強力なポテンシャルがあるからでもあります。

この記念日はもちろん、ローコチ市長と秋元市長との会談は両姉妹都市交流の歴史の新しい1ページを開き、そして、活発な人道交流に加え、さまざまな分野での互恵的な経済協力へと導かれるものと思います。ノボシビルスク市と札幌市の市民の皆様がこの分野で成功をおさめ、ロシアと日本の善隣関係の強化に寄与することを心から願っております。

## 札幌・ノボシビルスク姉妹都市 提携20周年を迎えて



札幌姉妹都市協会会長  
福 迫 尚 一 郎

1990年に札幌とノボシビルスクが姉妹都市提携を結んでから、25年という長い間、両市は、芸術文化、学術、経済、スポーツ、青少年交流など様々な分野で交流を深めて参りました。これはひとえに、両市民の熱意によって支えられてきたものです。

去る2015年6月24日(水)から6月29日(月)までノボシビルスク市に滞在した札幌市民で構成される訪問団は、行く先々でノボシビルスク市民からの心のこもった「おもてなし」を受け、胸を熱くしました。特に、現地で日本語学習に取り組む若い世代との交流は、今後の両市の友好関係を感じさせ、頼もしい限りです。

公益財団法人札幌国際プラザならびに札幌姉妹都市協会では、毎年、連携団体である「シベリア・北海道文化センター」で日本語を学ぶ青年たちを10日間程度受け入れ、日本文化に触れる機会や札幌市民との交流、札幌について知ってもらう視察等のプログラムを実施しています。青年たちは、札幌市民との交流を楽しみ、多くのことを学び、ノボシビルスクに戻ってからも日本語を学び続けていると聞きます。

今回のノボシビルスク訪問でも、多くの「元・青年訪問団」が札幌市民訪問団と交流し、相互理解を深め、継続的交流を続けています。

これらの「輪」がこれからもずっと続いていくと、私は確信しております。

これからも両市の市民が草の根の交流を続け、日本とロシアの友好関係の一端を担い、世界平和に寄与していくことを心から願っております。

## 札幌市民の皆様へ



シベリア・北海道文化センター館長  
アレクサンドル・スピリドノフ

札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携25周年にあたり、両市の市民の健康と平和、幸福をお祈り申し上げます。

25年という期間は歴史的には短い期間です。しかし、両市の市民は、相互理解、友好関係の強化、共同事業の実施、新しい企画などのために25年間にわたってどのように努力してきたか考えれば、民間交流の大切さを分かるとともに、札幌とノボシビルスクの姉妹都市関係の更なる発展に自信を持つようになります。

そして、その25年の間に東北アジアにも札幌とノボシビルスク共通の姉妹都市ができました。それは私たちが国際交流発展のために進んでいる道が間違いなく正しいという証明だと思っております。

これからも、共通の目的や課題がたくさんありますので、両市が協力しながら世界の平和のため努力していくように、心から希望しております。

改めまして、両市の市民が、引き続き両国及び両市の発展のためにご活躍されますことをお祈り申し上げますとともに、姉妹都市・札幌の市民の皆様へ25周年をお祝い申し上げます。